

金沢区介護支援専門員連絡会

# 金沢ケアマネ俱楽部

第37号  
令和5年3月発行



## 第48回 金沢まつりいきいきフェスタ

10月15日（土）10:00～15:30



金沢区民の秋の祭典「いきいきフェスタ」に、今年も参加してまいりました。

例年通り、「やきそば」と「玉こんにゃく」の販売を行いました。コロナウイルス感染がおさまり切らない中でのイベントでしたので、来場者数や、飲食についての懸念もありましたが、今まで通り、楽しく参加しよう！ということで、なんと「やきそば」も「玉こんにゃく」も早いうちに完売することができました。

なによりも、準備段階からいろいろな意見を交わし、役割分担をして取り組むということが、とても新鮮で楽しく、今後の業務にも生かせるようなチームワークの構築ができたことに、参加した会員の皆さんからも喜びの声が上がっておりました。

今回、ご参加が難しかった皆さんも、ぜひ、来年度はご参加ください！



第5回金沢区医療・福祉合同研修

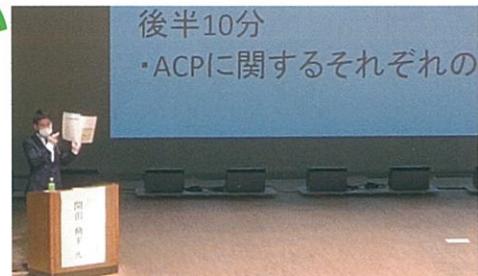
金沢区役所高齢障害支援課・金沢区在宅医療相談室主催・金沢ケアマネ俱楽部他協力

# どう支える？本人の思いと家族の意向

## 本人の思いと家族の意向にどう向き合うか ACPへの課題は？

令和4年11月2日（水）18：30～20：30

会場 金沢公会堂・講堂



1、開会の言葉 金沢区福祉保健センター長 船山和志氏

### 2、事例発表

金沢病院 相浦恵理子氏・・・限りある入院期間の中で納得のできる意思決定支援を行っていくが、病状とご本人の希望とのギャップがあるなかで、ご本人、ご家族の意向に寄り添い支援することの難しさを感じている。

介護老人保健施設あさひな 笠原光子氏・・・ご本人とご家族の思いに相違がある時、どちらを優先すべきか、いまだに答えが出ないでいる。

富岡地域ケアプラザ 垣花恭弘氏・・・コロナ禍ということでご本人とご家族が向かい合い話をする機会がない中、互いの気持ちを確認し合えない。

本人が希望する選択に対して家族へ適切なアドバイスが行えているのか疑問を感じている。日々悩みながら対応している。

正しい知識を持つことで解決の糸口になればと思う。

3、ACPについて みらい在宅クリニック港南 院長 開田脩平氏

在宅療養者を支える立場から考える

#### ①ACPで何？

人生の最終段階における医療・ケアのあり方について  
本人の意思や本人らしい人生のあり方を尊重した医療・ケアを提供することが基本。

その効果や問題点について。

②各職種に求められること。

在宅医療において介護従事者に求められる ACP について。

他職種での ACP には共有・傾聴・更新・受容共感が大切であり、感じ方や考え方を出し合い話し合うことが大切。

③意向が不一致だったら

何が大切か・早すぎる ACP は望んでいない。そのポイントや具体的なタイミング。

全ての人が同じ価値感ではない。話し合いを重ねていこうに結論に近づくことができる。100点の答えはない。

### 4、グループワーク

### 5、意思決定支援ツールについて

金沢区 高齢障害支援課 包括ケア推進担当係長 中田大佳氏

『もしも手帳』について

6、閉会挨拶 金沢区在宅医療相談室運営委員会委員長 河本クリニック 院長 河本 和行先生

今回の研修で色々な事例の発表や、開田先生のご講義を通して ACP の課題が見えてきた様に思います。医療職は家族や本人の細かい情報収集がなかなか難しい。担当の各専門職が情報等それぞれが出来ることを持ち寄り、伝えつなぎ合わせていくことが ACP につながるのかなと思います。



金沢区医師会・金沢区訪問介護事業所連絡会・金沢区通所介護事業所連絡会共催

# 「生き方、逝き方に向き合う」 自然死という選択

講師：玉置 妙優氏（僧侶・看護師）

令和4年11月22日（火）18:30～20:30

会場 金沢公会堂・講堂

コロナウイルス感染の蔓延により2020年より延期されていた看護師、僧侶である玉置妙優先生による「生き方、逝き方に向き合う」というテーマの講演が、医療、福祉関係者、一般の方々合わせて250名ほどの参加の下、金沢公会堂で開催されました。

誰もが直面する「死」についての難しいテーマにおいて、医学の進歩と個々人の価値観の変化により生と死の境が多様化、曖昧化となる中で生死の選択肢が増えてきており医療への弊害が出ているということでした。医学が進歩する中での自然死は難しいことであるが、死に逝く人と残される者の役割として哀しい別れをどう受け入れるか死に逝く人が無理せず、我慢せずに諦められるカタチを整えること、送る家族が腹に落ちて応援できて諦められるカタチを目指すことはできるのではないか・・ということがでした。



人間は死ぬときは決まっていて、死に方に意味をつけてジャッジするのは人間だけで、逆に死に方に意味づけすることは失礼なことであり、ジャッジが自分にとって苦しいものなら書き換えることで、①思考の鎖を断ち切る（悲しい気持ちを断ち切る）②物語を書き換える（自分にとって楽な物語）③寄り集まって語り合う場を作る（ピアサポート）というお話がありました。

死に逝く人への敬意と感謝を持って「生き方、逝き方」を家族と共に考える時間を持つことで「死」というものが能動的に受け止められ、気持ちの拠り所を持つことができるのだと思えた講演でした。



2023年  
2月12日  
(日)

## 福を招く 金澤七福神巡り



コロナ禍の中、行動制限もあり、思うようにイベントを行う事ができませんでしたが、昨年からの企画「横

浜金澤七福神巡り」を開催する事ができました。金沢区にあるたくさんの中世期以降の歴史的、文化的資産を観光資源として活かし、街の活性化につなげようと「横浜金澤七福神」が創設されました。今回は横浜金沢観光協会発行のスタンプシートを各自に渡し、開運招福と健康ウォークを兼ねて七福神巡りを楽しみました。

① 長昌寺「布袋尊」…天然痘除けのお守り神として名高いお寺。福を呼ぶ「布袋尊」が祀られています。天然痘（ほうそう）除けの守り神として名高い芋觀音が祀られています。

② 富岡八幡宮「蛭子尊」…海上安全の海の守り神、又商売繁盛の福の神「蛭子（えびす）」が祀られています。源頼朝がこの地の鎮護のため、摂津国西宮神社の「蛭子尊（ひるこのみこと）」を勧請したのが始まりです。

③ 宝蔵院「寿老人」…長いひげをたくわえられ、手に杖や宝珠、桃を持たれ、長寿を司る神「寿老人」が祀られています。御本尊は大日如来で、鎌倉時代末期の開山と思われます。

④ 伝心寺「毘沙門天」…スポーツの試合や、受験等の守護、また開運出世、厄除けにも良いとされる神様。

⑤ 龍華寺「大黒天」…商売繁盛や福運アップの神「大黒天」が祀られています。800年以上の歴史のある寺には貴重な宝物が所蔵され牡丹なども有名です。

⑥ 瀬戸神社「弁財天」…源頼朝が征夷大將軍となつたことから、立身弁財天とも呼ばれています。その他にも、舟寄弁財天の呼称もあり、金運アップ、商売繁盛のご利益があるといわれています。境内社としての琵琶島神社は、北条政子が海中に築いた神社です。

⑦ 生法院「福禄寿」…弘法大師が掘った井戸から赤い靈水が湧き出したと伝えられ、この赤い水で弘法大師が書いたとされる不動明王画像がこの寺に伝えられています。家族（福）、仕事・勉強（禄）長（寿）に恵まれるという「福禄寿」が祀られています

9時に富岡駅を出発し、以上のルートで七福神巡りをしました。途中の休憩では鰻松でうなぎを食べ、3時間程度で巡る事ができました。また、七福神巡りの他にも称名寺を巡りました。散策時躑躅梅もあり阿字ヶ池を中心に反橋・中島・平橋を配した浄土式庭園で、橋を渡りきると極楽浄土に辿りつくようになっている景観はとても素敵でした。

今回の七福神巡りでは他事業所の方とコミュニケーションを図り、日頃の労を癒すことができたかと思います。金沢区にはこのほかにも色々数多くの観光資源があります。会員の皆様もお休みの日に金沢区を巡ってみると新たな発見があるかもしれません。



編集・発行

金沢区介護支援専門員連絡会 金沢ケアマネ俱楽部 広報委員会

お問合せ・入会のお申込み

事務局 木村 宜弘 (アースサポート 金沢八景)  
TEL 045-785-3500 FAX 045-785-3833  
kanazawahakkei@earthsupport.co.jp

協賛団体  
隨時受付中

協賛：ウェルネスト 介護ネットプラザ 介護福祉サービス 守の会 株式会社 イノベイションオブメディカルサービス  
株式会社 けいすいケアサービス 株式会社 柴橋商会 介護用品 横浜磯子センター 五條歯科医院  
社会福祉法人すみなす会 デイサービスこのはな金沢文庫 有限会社 青空（五十音順）